

第41回 一般社団法人 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

開催要項

- **テーマ** こどもがまんなかの幼児教育の充実・発展を考え合う
～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～
- **期 日** 令和8年10月26日(月)・27日(火)
- **会 場** 佐賀県唐津市
《唐津シーサイドホテル》
〒847-0017 佐賀県唐津市東唐津4-182 ☎0955-75-3300
《メルキュール佐賀唐津リゾート》
〒847-0017 佐賀県唐津市東唐津4-9-20 ☎0955-72-0111
● **アクセス** JR東唐津駅より 車で10分
福岡空港より 車で1時間15分／福岡市営地下鉄・JR筑肥線で1時間45分
- **形 式** 対面形式(オンライン配信はございませんのでご留意下さい)
- **対 象** 設置者・園長ならびに後継者、またはこれに準ずる者
- **定 員** 600名(定員になり次第締め切らせていただきます)

第1日目(10月26日(月))

受付	開会式	共同保険化	記念講演	行政報告①	行政報告②	懇親会
12:00～ 12:45	12:45～ 13:30	13:30～ 13:35	13:45～ 15:15	15:25～ 16:25	16:35～ 17:35	19:00～ 20:30

第2日目(10月27日(火))

受付	研究講座	全体会
9:00～ 9:30	9:30～ 11:30	12:00～ 13:00

主催 / 一般社団法人 全日本私立幼稚園連合会

協力 / (-財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、(-社)佐賀県私立幼稚園・認定こども園連合会

後援 / 文部科学省(申請中)、こども家庭庁(申請中)



【第1日】／10月26日（月）

〈唐津シーサイドホテル〉

12：00～12：45 受 付

12：45～13：30 開 会 式

13：30～13：35 共同保険化

13：45～15：15 **記念講演** 「羽柴（豊臣）秀長の生涯 秀吉を支えた『補佐役』の実像」

【講 師】 駿河台大学法学部教授

NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」時代考証

くろだ もとき
黒田 基樹 氏

（略歴）

早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業、駒沢大学大学院人文科学研究科日本史学専攻博士後期課程修了、博士（日本史学）。

現在、駿河台大学法学部教授。専門は日本中世史、とくに戦国～近世初期社会史。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」・2026年NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」時代考証。

主要著書：『百姓から見た戦国大名』（ちくま新書）・『増補戦国大名』（平凡社ライブラリー）・『国衆』『戦国北条家の判子行政』『羽柴秀長の生涯』（平凡社新書）・『戦国北条五代』（星海社新書）・『下剋上』『秀吉を天下人にした男 羽柴秀長』（講談社現代新書）・『お市の方の生涯』『徳川家康の新研究』（朝日新書）・『駿甲相三国同盟』（角川新書）・『羽柴秀長と藤堂高虎』（NHK出版新書）・『関東戦国史』『戦国大名の危機管理』『羽柴を名乗った人々』（角川ソフィア文庫）・『羽柴秀長とその一族』『信長時代の羽柴秀吉』『戦国大名・伊勢宗瑞』『戦国大名・北条氏直』（角川選書）・『今川のおんな家長 寿桂尼』『北条氏康の妻 瑞溪院』『羽柴家崩壊』（平凡社）・『図説北条氏康』『図説享徳の乱』（戎光祥出版）、ほか多数。

15：25～16：25 **行政報告①** 「幼児教育の現状と課題」

【講 師】 文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課長（予定）

16：35～17：35 **行政報告②** 「保育政策ならびに行政の動向について」

【講 師】 こども家庭庁 成育局 保育政策課長（予定）

19：00～20：30 懇 親 会

〈唐津シーサイドホテル／メルキュール佐賀唐津リゾート〉

9:00～9:30 受 付

9:30～11:30 研究講座

1. 教 育

『創りだそう！こどもの未来を拓く良質な乳幼児期の教育を 届けよう！こどもと共に生きるよろこびを』

日本の乳幼児教育は、「質と評価の時代」と言われて久しくなりました。しかし、自園の保育の質をどのように捉え、どのような方法で評価し改善につなげていくかについては、各園によって、その考え方は多種多様であるのが現状です。そのような中で、私たちは、手立ての一つとして（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発したECEQ®を活用して自園の良さと課題を自覚し、公開保育を活用して自園の保育を見つめ直し、教育・保育の質向上に取り組んでいます。さらに広く世界の乳幼児教育を見渡すと、各国ではどのように教育・保育の質を捉えているのでしょうか。自分たちの足元をみているだけではなく視野を広げ、世界的視点から日本の教育・保育について考えるひと時としたいと思います。このたびは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）浅井幸子センター長をお迎えし、各国におけるこども観や保育の質の捉え方についてご講話いただきます。各国のこども観から保育の質の捉え方を学び、我が国の教育・保育の質に迫ってみたいと思います。

基調講演「世界の乳幼児教育・日本の乳幼児教育 ～各国のこども観から保育の質を考える～」

【講 師】	東京大学大学院教育学研究科	教 授	
	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）センター長		浅 井 幸 子 氏

意見交換

【登壇者】	東京大学大学院教育学研究科	教 授	
	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）センター長		浅 井 幸 子 氏
【進 行】	一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 教育研究委員会	委 員 長	岡 本 潤 子 氏
【質問者】	一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 教育研究委員会	委 員	後 藤 光 葉 氏

2. 振 興

『こども誰でも通園制度』スタート ～すべてのこどもの成育環境を応援する給付制度～ 現場での取り組み事例、今後の課題は？

こども未来戦略に基づき「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」が創設され、今年から給付制度として本格的にスタートしました。すべてのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルに対応した支援を強化するための新たな通園給付制度です。

また保護者自身が親として成長することができるという観点や、保育者としての専門性を地域のすべてのこどもたちの育ちのために広く発揮できるというリソースの面も兼ね備えています。

一方で、月10時間の利用時間の制限や定期利用・不定期利用の設定、3つの形態：余裕活用型・一般型（在園児合同）・一般型（専用独立）に分けられているなど、複雑な運用となっています。

従来の預かり事業とは一線を画する『通園給付制度』であるという位置づけですが、従来の預かり事業や未就園児教室と何が違うのか？こども誰でも通園制度ならではのメリットや今後の課題について実践事例を通して浮き彫りにします。

佐賀県佐賀市の実践事例、委員パネラーからの実践事例を通して今後のこども誰でも通園制度の展望と課題を皆様と考えて参りたいと思います。

行政発表「こども誰でも通園制度の実施状況 ～佐賀県佐賀市の取組～」

【登壇者】	佐賀市こども未来部 副部長 兼 保育幼稚園課 課長		馬 郡 裕 子 氏
-------	---------------------------	--	-----------

委員発表「私立幼稚園におけるこども誰でも通園制度の事例報告と課題」

【登壇者】	一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 政策委員会	委 員	伊 東 慶 氏
-------	-------------------------	-----	---------

鼎談

【鼎談者】	佐賀市こども未来部 副部長 兼 保育幼稚園課 課長		馬 郡 裕 子 氏
	一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 政策委員会	委 員	伊 東 慶 氏

【コーディネーター】	一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 政策委員会	委 員 長	石 田 明 義 氏
------------	-------------------------	-------	-----------

3. 経 営

『超少子化時代における幼稚園・保育園・認定こども園団体の未来について考える ～何を守り、何を変え、どう連携するのか～』

出生数の減少が加速する中、幼稚園・保育園・認定こども園を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えています。園児数の減少、地域間格差、人材の確保・育成、施設経営の持続可能性など、各園が直面する課題は、もはや一つの施設類型や団体だけで解決できるものではありません。制度や成り立ちが異なるからこそ、それぞれが培ってきた知見と強みを持ち寄り、地域の子どもと家庭を支える新たな連携を築くことが求められています。本研究講座では、全国私立保育連盟の丸山純常務理事、全日本私立幼稚園連合会の尾上正史会長、同連合会経営研究委員会委員長の立山貴史が、関係団体の果たすべき役割、園経営の将来像、制度の垣根を越えた協働の可能性について率直に語り合います。危機感の共有にとどまらず、乳幼児教育・保育を地域の社会基盤として守り、次代につなぐために、団体と経営者が今何を決断し、どう行動すべきかを参加者の皆様と共に考えます。

【鼎談者】 一般社団法人全日本私立幼稚園連合会

公益社団法人全国私立保育連盟

一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 経営研究委員会

会 長 尾 上 正 史 氏

常務理事 丸 山 純 氏

委 員 長 立 山 貴 史 氏

4. 認定こども園

『新制度・認定こども園における保育の質を考える ～子どもたちの豊かな育ちを支えるために～』

「子ども・子育て支援新制度」がスタートして12年。全日私幼連加盟園も6割以上が施設型給付や認定こども園に移行しました。2025年の出生数は67万1,236人となり、1899年の統計開始以来、10年連続で過去最少を更新しています。待機児童の減少に伴い、国の施策も、保育の量の拡大から「質の向上」に軸足を移しています。近年の多くの研究でも、乳幼児期の教育・保育の質の重要性が指摘されています。一方、各園でも2・3号認定児の割合が高くなり、保育の長時間化も進む中、子どもの健やかな育ちの基盤となる愛着形成をいかに支えるかは、保育の質を考える上で重要な視点となっています。子どもが育つ環境の変化に伴い、自尊感情やメディア利用のほか、睡眠・生活リズム、非認知能力の発達など、さまざまな課題も指摘されています。

本研究講座では、山の手クリニック院長の中谷晃先生よりご講演をいただき、ダイアログ・セッションでご講演内容を深めながら、各園の保育実践を見つめ直し、保育の質の向上につなげる機会となることを期待します。

講演「愛着形成への支援」～長時間保育やメディア利用による子どもへの影響と対策～

【講 師】 医療法人山の手クリニック

院 長 中 谷 晃 氏

ダイアログ・セッション

【登壇者】 医療法人山の手クリニック

一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会

院 長 中 谷 晃 氏

委 員 樽 木 陽 子 氏

【コーディネーター】

一般社団法人全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会

委 員 長 徳 本 達 之 氏

12:00～13:00 **全 体 会** 「こども性暴力防止法にかかる事業者対応」

【講 師】 MS & AD インターリスク総研株式会社

リスクマネジメント第四部 BCM2G・医療福祉チーム
(上席コンサルタント)

かみや あゆみ 氏
紙谷 あゆ美 氏

参加申込み方法

■大会参加費 18,000 円

■懇親会費 10,000 円（申込み制、26 日開催）

- 参加を希望される方は、ゆたかなまナビよりお申込み下さい。ゆたかなまナビに教職員登録をされていない方は、本研修大会のお申込みができませんのでご留意下さい。お申込みの詳細につきましては、全日本私立幼稚園連合会ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からご確認ください。
- お申込みの締切は **10 月 2 日 (金)** とさせていただきます。
- 申込み手続き後の参加者の都合による、大会及び懇親会の申込みをキャンセルされた場合、参加費及び懇親会費の返金はいたしません（代理参加可）。
- お申込みいただいた方には、10 月中旬までに大会参加券等を郵送にてご案内いたします。
- 宿泊のご案内は「宿泊プランのご案内」をお目通しいたゞき、直接 JTB 宿泊サイトからお申込み下さい。申込みは先着順となっており、定員になり次第締め切りとなります。
- 宿泊の取り消しに伴う返金につきましては、JTB の規約に基づきます。

■個人情報の取り扱いについて

申込み時の登録情報は、本研修会の参加者名簿や参加受付証等発送など、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。また、研修会の当日大会資料（名簿）に「氏名」「都道府県名」「園名」を掲載します。なお、本研修会に関する業務を株式会社 JTB ビジネスソリューション事業部第六事業部と株式会社マツヤマクリエーションに委託し実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

★参加の方法、研修内容はこちら

Tel. 03 - 3237 - 1080
Fax. 03 - 3263 - 7038
Mail : info@youchien.com

一般社団法人 全日本私立幼稚園連合会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 4 階（担当：加藤、白石）

★宿泊のお申込みは下記 URL

または QR コードから

<https://n-tabeat.jtb.co.jp/tabeat/List.aspx?tourno=00bc0241eb344811811832db>



株式会社 JTB

『第 41 回設置者・園長全国研修大会』係

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビルディング 23 階
Tel. 03 - 6737 - 9303（担当：堀川、小菅）